

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>1.使命と計画</b>					
①中長期計画					
A. 目標と計画・重点事業の構築、事業への活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標の設定、具体的計画の策定状況</li> <li>事業への活用状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>24年度に引き続き、具体的計画の策定と計画実現のための手法を研究する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的計画の策定と計画実現のための手法について検討した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の年次計画の策定し、予算要求等に活用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・計画実現のための予算確保</li> <li>【改善案】</li> <li>・状況に応じた計画の見直し</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予算確保に努めてください。予算と計画を勘案した計画を。【戸枝】</li> <li>・リニューアル(再開館)によって期待が高まる県民ニーズに対応できるよう、今後の美術館像(ビジョン)を所管と館職員で十分に検討し、中長期的な目標を掲げ、職員全員・ボランティアや友の会などの協力スタッフと目標を共有化し、具体的な活動を行ってほしい。これまで通りではなく、どう変わっていききたいのか、どう変わってほしいというニーズがあるのかを把握した上で、計画策定にあたってほしい。【村井】</li> </ul>				
②評価の実施					
A. 評価の実施と結果の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価及び外部評価の実施状況</li> <li>P.D.C.A.サイクルへの反映状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己評価シート及び博物館協議会、有識者意見交換会による外部評価を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己評価</li> <li>県立博物館評価に係る自己評価表を作成した。</li> <li>○外部評価</li> <li>千葉県立博物館評価に係る有識者意見交換会で外部評価を受けた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・組織的課題や問題意識の共有</li> <li>【改善案】</li> <li>・資料回覧や会議開催等による情報の共有化</li> <li>・目標チャレンジプログラム等の活用</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善案を進めてください。情報の共有が必要です。【戸枝】</li> <li>・他館と比べると評価の精度が低い。関宿城博物館等、他館の自己評価や取組姿勢を学び、改善してほしい。【村井】</li> </ul>				
<b>2.組織と運営等</b>					
①組織・人員					
A. 職員の研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修への参加体制の整備状況</li> <li>参加状況(種類・件数・人数)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員に対して、研修への積極的な参加を奨励する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館学、保存科学、著作権、教育普及等の研修会への参加を奨励し、延べ10名が研修会等に参加した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>研修成果の業務への反映</li> <li>【改善案】</li> <li>・報告会等の開催による情報の共有</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修資料の回覧、コピー配付等で内容を共有することが大切です。【戸枝】</li> </ul>				
②県民ニーズに則した運営					
A. 利用者数	<ul style="list-style-type: none"> <li>当該年度の利用者数</li> <li>前年度比較による傾向</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>20,000人を目標とする。(平成27年1月再開館後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30,036人で、目標値を上回った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震改修等工事による休館前(23年度)の総入館者数(208千人)を上回る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・目標数の確保</li> <li>【改善案】</li> <li>・広報の充実</li> </ul>
B. 満足度・ニーズ等の調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施方法と結果</li> <li>結果の事業への反映状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケート調査等の方法により、利用者の満足度やニーズの把握に努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでのアンケートを見直し、新たにアンケート設計を行った。毎日アンケートの記載内容を確認し、指摘事項について速やかに対応するように努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・アンケート結果の運営への活用と反映</li> <li>【改善案】</li> <li>・アンケート手法の検討</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値に向かい、改善策に沿って進めてください。広報が重要です。【戸枝】</li> <li>・なぜアンケートを取るのか、把握したいことは何か、まずそこから調査設計すべき。結果を戦略的に生かす取組姿勢が欠けている。【村井】</li> <li>・アンケートに関しては良かった、悪かったではなく、お客様目線で見ただけでどう見えているか？改善すべき点はどこか？などを探るためのものにすべきと感じます。【飯田】</li> </ul>				

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>3.施設・設備</b>					
①アメニティーの向上					
A. バリアフリー	・バリアフリー対策の実施状況	・点字キャプションの設置など、展示での工夫に努める。	・点字キャプションの増設等は、実施できなかった。 ・耐震改修等工事により、多目的トイレの改修を行った。	・既存の点字キャプションの見直しなど、展示での工夫に努める。	【課題】 ・ニーズや問題点の把握 【改善案】 ・障害者等関係団体へのアンケートや聞き取り調査の実施
B. アクセス	・交通機関(含誘致)と駐車場の状況  ・アクセス案内の状況	・交通事情の把握	・バス会社にバスの増便を申し入れたが、実現しなかった。 ・最寄りのバス停周辺の地図を作成し、配布した。 ・耐震改修等工事により、駐車場の整備を行った。	・ホームページのアクセス案内の改善	【課題】 ・館周辺の再開発に伴う交通事情の変化 【改善案】 ・交通サインの修正や増設 ・ホームページの改善
C. ミュージアムショップ	・利用者満足度とニーズの把握状況  ・結果の反映状況	・運営主体(友の会)による再開館準備への支援	・平山郁夫関連商品の紹介や提案を行い、展覧会期間中の売り上げが向上した。	・運営主体(友の会)による再開館準備への支援	【課題】 ・利用者ニーズの把握 ・売り上げの向上 【改善案】 ・美術館からのアドバイスやサポート(他のミュージアムショップの事例紹介、商品構成の提案など)
有識者所見		・多目的トイレ設置は良い。アクセスについては、機会毎に交渉してください。【戸枝】 ・誰もが楽しく有意義に過ごせる美術館をめざし、バリアフリーではなく、ユニバーサルデザインに率先して取り組んでほしい。そして、その成果を県立の他の施設に反映できるところまでめざすべきだと思う。取り組み姿勢や目標設定を検討し直すべき。ショップだけでなく、レストランに関する項目も増やすことを希望する。【村井】			
<b>4.財源</b>					
①予算の確保					
A. 入場料収入・その他の事業収入	・当初計画に対する収入の達成状況  ・その他の収入の状況	・入場料収入見込 7,510,976円 ・その他の収入見込 552,828円	・入場料収入 6,395,030円 ・その他の収入 1,345,792円	・入場料収入見込 11,128千円 ・その他の収入見込 6,289千円	【課題】 ・見込額の達成 【改善案】 ・広報の工夫(段階的広報や途中評価の実施) ・有料層(15~64歳)の集客
有識者所見		・入館者増が収入に反映、広報に力を入れてください。【戸枝】 ・工事期間の問題と思われるが、27年度の目標数値の妥当性が不明。有料入場者の分析から広報、告知方法など検討、仮説と実績評価から有効策を。【飯田】			
②館独自の財源獲得					
A. 外部助成金等の獲得	・獲得計画に対する達成状況	・外部資金の申請と採択を目指す。	申請件数:2件(特別展) 採択件数:2件(特別展)	・継続	【課題】 ・執行方法の明確化 【改善案】
有識者所見		・継続して申請してください。【戸枝】			
<b>5.収集・保存及び活用</b>					
①資料の管理と収集					
A. 収蔵点数と収集点数	・収蔵資料の件数と点数  ・新収集資料の件数と点数	・収集方針に基づいて収集を行う。	・収蔵作品6分野2,407点、研究資料1,619点(平成26年度末現在) ・25年度新収蔵作品3点(いずれも寄付による)	・継続	【課題】 ・未収蔵作家の作品収集 ・購入予算の確保 【改善案】 ・調査研究による作品所在情報の蓄積
B. 登録	・収蔵資料の管理(台帳等整備)状況	・26年度に収蔵するすべての資料について台帳への記入及びカードの作成を行う。	・26年度末までに収集した資料について台帳への記入及びカードの作成を行った。	・27年度に収蔵するすべての資料について台帳への記入及びカードの作成を行う。	【課題】 ・特になし 【改善案】
C. 維持管理と修復・保存処理	・定期的な維持管理の実施状況  ・資料の修復作業・保存処理の状況	・工事終了後の収蔵庫について、除菌除塵作業を行う。 ・定期的な点検、温湿度の確認、トラップによる昆虫相調査を行い、保存環境の把握と適切な環境の維持に努める。 ・修復年次計画の策定	・工事終了後の収蔵庫について、除菌除塵作業を行った。 ・定期的な点検、温湿度の確認、トラップによる昆虫相調査を行い、保存環境の把握と適切な環境の維持に努める。 ・29年度までの修復年次計画を作成した。	・定期的な点検、温湿度の確認、トラップによる昆虫相調査を行い、保存環境の把握と適切な環境の維持に努める。 ・修復年次計画の策定	【課題】 ○維持管理 ・収蔵庫用備品及び消耗品予算の確保 ・災害対策 ○修復等 ・修復予算の確保 【改善案】 ○維持管理 ・年次計画に基づく予算要求 ○修復等 ・年次計画に基づく予算要求
有識者所見		・県内美術館で開催する展覧会等の記録化をしたらどうでしょうか。蓄積が情報となります。【戸枝】			

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>②資料の活用</b>					
A. 要望に応じた貸出等	・研究や展示等、資料の貸出状況	・要望があった場合は、貸付要綱等の規定に基づき、作品及び写真画像等の貸出を行う。	・他の美術館に対して、収蔵資料40点を貸し出した。 ・収蔵資料の写真掲載については22件39点の画像を提供した。	・継続	【課題】 特になし 【改善案】
有識者所見					
<b>③図書室の公開</b>					
A. 図書資料の閲覧	・閲覧システムの構築状況  ・利用状況と利用者満足度	・再開館に向けての公開準備 ・ボランティアの導入	・情報資料室ボランティアを募集し、12名の登録を行った。 ・ボランティアに対して、レファレンス講習等の研修を実施した。 ・再開館に向けて、図書の配架の見直しや清掃を行い、一般公開を開始した。	・公開方法の見直し	【課題】 ・収蔵スペースの不足 ・図書購入予算、備品等購入予算の確保 ・利用者数の増 【改善案】 ・年次計画に基づく予算要求 ・情報資料室に関する広報
有識者所見 ・課題の解決に努めてください。ボランティアの協力で公開できることを望みます。【戸枝】 ・利用者数の目標値を定めること。利用者拡大のための方策を検討したかも結果を来年度は記載してほしい。 ボランティアは、積極的な利用者とも言えることから、その活動数を目標値として定めることも検討してほしい。【村井】					
<b>6.調査・研究</b>					
<b>①調査事業</b>					
A. 調査事業の件数	・使命に基づく調査研究の実施状況	・資料収集、収蔵資料、展示企画、普及事業等に関する調査研究を行う。	・27年度開催予定の特別展及び重点作家、千葉県関係作家の調査を実施した。 ・千葉県関係作家については、リーフレット「千葉ゆかりの美術家たち」を2編作成した。	・継続	【課題】 特になし 【改善案】
有識者所見					
<b>②外部との調査・研究</b>					
A. 外部との調査研究の件数	・共同研究等の実施状況	・他県の美術館に対して共同研究を打診する。	・今年度未実施	・継続	【課題】 ・予算の確保 ・共同研究の機会の確保 【改善案】 ・外部資金の活用
有識者所見 ・継続してください。【戸枝】 ・他県の美術館を対象にするのではなく、県立美術館として、まずは県立の文化施設や研究機関、大学、教育機関、市民団体などと共同・協働すべきではないのか。取組姿勢から見直しが必要だと思う。【村井】					
<b>③研究成果の発表</b>					
A. 展示等への反映	・展示への反映状況  ・普及事業への反映状況	・研究成果を収蔵作品展や企画展等の企画立案に反映させる。	・重点作家及び千葉県関係作家に関する調査研究成果を、来館者向け印刷物にまとめたほか、海外調査を実施した。	・継続	【課題】 ・展覧会予算の確保 ・普及事業予算の確保 【改善案】
有識者所見 ・継続してください。【戸枝】					

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目		7. 展示			
① 常設展示					
A. 展示の更新と保守・点数	・ 展示替の実施状況 ・ 保守・管理の実施状況				【課題】 【改善案】
B. 満足度	・ 利用者満足度の把握状況 ・ 結果の反映状況				【課題】 【改善案】
有識者所見	・ 資料保存のため展示替えが必要。広報活動にも利用できます。【戸枝】				
② 企画展示(変更)					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況  ・ 年齢・地域等入場者の動向把握  ・ 来館者満足度の状況	・ 耐震改修等工事に伴い、9ヶ月休館するため、特別企画展を1本開催する。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	・ 計画どおり、開館40周年記念特別企画展として、「平山郁夫展」を開催した。 ・ 入場者目標20,000人に対して、29,337人の入場者を得た。 ・ アンケート調査の結果、満足度(非常に良い、良い)が90.3%で、高い満足度を得た。	・ 特別展を1本開催する。 ・ 入場者数30,000人を目標とする。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	【課題】 ・ 予算の確保 ・ 入場者数の増 【改善案】 ・ 広報手法の検討(段階的広報等)
有識者所見	・ 目標に向かい努力してください。広報活動も改善案に沿って行ってください。【戸枝】				
③ 企画展示(変更なし)					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況  ・ 年齢・地域等入場者の動向把握  ・ 来館者満足度の状況	・ 耐震改修等工事に伴い、9ヶ月休館するため、収蔵作品展等を3本開催する。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	・ 計画どおり、アート・コレクション「千葉県立美術館名品展」、アート・コレクション「彫刻」、パネル展「千葉県立美術館40年の歩み」を開催した。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)が48%となった。	・ 収蔵作品展を14本開催する。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	【課題】 ・ 予算の確保 ・ 入場者数の増 ・ 収蔵作品展に関するマイナスイメージ 【改善案】 ・ 収蔵作品展に対するイメージの脱却
有識者所見	・ 目標に沿って実施してください。資料保全に注意してください。【戸枝】 ・ 収蔵品展、常設展示に関しては、「見る」だけではなく、作品と多様な接点を生まれるような活動を検討してほしい。それは今後の美術館像につながると思う。【村井】				
④ 館外での展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況(要望件数等)  ・ 利用者が満足しているか	・ 移動美術館を2会場で実施する。 ・ 各会場入場者数2,000人以上 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	・ 計画どおり2会場で実施した。 ・ 総入場者数:1,656人(1会場平均:828人) ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)が89%で、概ね高い満足度を得た。	・ 移動美術館を1会場で実施する。 ・ 入場者数2,000人以上を目標とする。 ・ アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上を目指す。	【課題】 ・ 予算の確保 ・ 入場者数の増 【改善案】 ・ 会場市町村との連携による広報の充実
有識者所見	・ 移動美術館は館に来れない方にとっては非常に良い。また、この機会に館の存在と活動をPRしてください。【戸枝】				
⑤ 他館との合同企画による展示					
A. 企画数、利用者数、満足度	・ 実施状況(ネットワーク)  ・ 利用者が満足しているか	・ 他県の美術館に対して合同展示を打診する。	・ 今年度未実施	・ 継続	【課題】 ・ 予算の確保 ・ 他県との予算執行手続きの整合が困難 【改善案】
有識者所見	・ 館蔵資料と諸巡回展との関係を調査されたらどうでしょう。【戸枝】				

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目		8.教育普及事業			
①参加体験事業					
A.回数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類と回数、参加者数</li> <li>参加者は満足しているか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ 10回</li> <li>実技講座 5回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ 10回 計473人 &lt;内訳&gt;</li> <li>・いろいろ作ろう、美術館の縁日だよ！86人(定員なし)</li> <li>・小さなアニメーションを作ろう！12人(定員20人)</li> <li>・立体万華鏡を作ろう！27人(定員20人)</li> <li>・オリジナルモノレールを作ろう！46人(定員40人)</li> <li>・クリスマスオーナメントを作ろう！15人(定員30人)</li> <li>・貝殻でマリン風ガーランドを作ろう！46人(定員なし)</li> <li>・はじめての日本画体験41人(定員41人)</li> <li>・ちばモノレールまつり156人(定員100人)</li> <li>・移動美術館ワークショップ44人(定員100人)</li> <li>実技講座 5講座 計59人 &lt;内訳&gt;</li> <li>・陶芸講座(基礎)12人(定員20人)</li> <li>・陶芸講座(応用)17人(定員20人)</li> <li>・ホリデーアート「コラグラフィ」11人(定員20人)</li> <li>・ホリデーアート「シルバーアクセサリー」8人(定員40人)</li> <li>・金工講座11人(定員15人)</li> <li>コンサート 3回 計1,043人</li> <li>・オープニングコンサート281人(定員200人)</li> <li>・高校生による新春コンサート562人(定員なし)</li> <li>・ミュージアムコンサート200人(定員200人)</li> <li>・アンケート調査による満足度(非常に満足、満足)が100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークショップ6回</li> <li>・実技講座5回</li> <li>・ミュージアムコンサート2回</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・定員充足率の向上</li> <li>【改善案】</li> <li>・美術館周辺地域への広報の徹底</li> <li>・実施結果の広報による認知度向上</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>多くのワークショップを実施している。課題の解決に努めてください。リピーターによる口コミの広報は効果的です。大切にしてください。【戸枝】</li> <li>今後の活動にも期待。【村井】</li> </ul>				
②講演会・講座					
A.回数と参加者数、満足度	<ul style="list-style-type: none"> <li>種類と回数、参加者数</li> <li>参加者は満足しているか</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会1回</li> <li>・アンケート調査による満足度(非常に良い、良い)90%以上</li> <li>・参加者数200人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【課題】</li> <li>・講演会の広報及び集客</li> <li>・参加者の意見聴取</li> <li>【改善案】</li> <li>・美術館周辺地域への広報の徹底</li> <li>・アンケート回収率向上方法の検討</li> </ul>
有識者所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展、巡回展時に開催するのが望ましい。外部講師の招聘も入館者増、広報等への効果が期待できます。【戸枝】</li> </ul>				

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目		H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目	評価の視点				
<b>9.情報の発信</b>					
<b>①県民への直接的情報提供</b>					
A. 電話・来館面接等の質問	・件数と対応状況	・適切に対応する。	作品や作家、展示、教育普及事業に関する問い合わせに回答し、必要に応じて他の美術館等を紹介した。	・継続	【課題】 ・対応状況の記録と共有化 【改善案】 ・対応状況の記録と回覧
有識者所見 継続してください。レファレンスは館の印象を高め、信用度が増すと思います。【戸枝】					
<b>②メディア</b>					
A. 館事業(含調査研究)の情報提供	・提供件数  ・掲載件数の状況	・前年度を上回る提供件数 ・再開館に関する情報提供 ・前年度を上回る掲載件数	・新聞20件、雑誌3件、広報誌等20件、テレビ4件、ラジオ1件	・前年度を上回る掲載件数	【課題】 ・掲載率の向上 【改善案】 ・効果的な情報提供方法の検討
有識者所見 近年、露出が増えていると思います。改善案に沿って、工夫した情報提供をしてください。【戸枝】 結果に提供件数と掲載件数も記載すること。【村井】					
<b>③ホームページ</b>					
A. ホームページによる情報発信	・更新件数  ・資料登録件数の状況  ・アクセス数の状況	・更新回数:48回 ・資料登録件数:23件 ・アクセス数:90,000回	・更新件数:62回 ・資料登録件数:0件 ・アクセス数:71,502回	・耐震改修等工事による休館前(23年度)の実績(アクセス数73,000回)及び前年度実績を上回る。	【課題】 ・アクセス数の増加 ・コンテンツの充実 ・キャッシュへの対応回)及び前年度実績を上回る。 【改善案】
有識者所見 課題の解決に努めてください。【戸枝】					
<b>④刊行物</b>					
A. 印刷物による広報	・種類と部数  ・配付等の状況	・ポスター、チラシ、事業案内等16種 181,660部	・ポスター、チラシ、事業案内等18種、164,040部	・ポスター、チラシ、事業案内等10種、92,500部	【課題】 ・美術館周辺の集合住宅組合の協力 ・デザイン 【改善案】 ・美術館周辺地域への配布方法の検討 ・デザイナーの活用
有識者所見 予算との兼ね合いもあるが、改善案のようにデザイナーの活用も検討する必要があると思います。【戸枝】 発行種類と部数よりも、その効果分析が重要だと思う。評価の視点や目標値の見直しが必要。(全館共通)【村井】 有料入場者の分析から手を打つ優先順位の検討と実践の繰り返しを続けていかなければ、新たな入場者層は広がらないと考えます。【飯田】					
<b>10.県民参画</b>					
<b>①県民との協働</b>					
A. ボランティア	・ボランティア活用システムの構築  ・登録者数と活動状況  ・育成のための研修等の実施状況	・ボランティアの募集 ・受入人数:30人 ・研修会:2回	・計画どおり、ボランティアの募集を行った。 ・16名の登録を行った。 ・研修会を9回(全体研修3回、ワークショップ研修4回、情報資料室研修2回)実施した。	・継続	【課題】 ・登録者数の増加 ・募集広報の方法 ・ニーズの把握 【改善案】 ・美術館周辺地域への広報の充実 ・ボランティアとの対話によるニーズの把握
B. 県民からの情報提供	・情報入手体制の状況  ・対応状況	・提供された情報(寄贈申し出や作品の所在情報等)の活用	・提供された情報を作家フォルダーやカードに記載し、情報の蓄積を行った。	・継続	【課題】 特になし 【改善案】
C. 友の会	・会員数(増減)  ・活動状況(館との連携・単独事業)	・会員数の増加と活動のさらなる活性化	友の会による自主講座等が活発に行われている。 会員数:347人(H26年3月末現在) 友の会との連携事業:1件 実技講座、研修旅行参加者数:169人	・継続	【課題】 ・活動の活性化 ・会員の高年齢化 ・財源の確保 【改善案】 ・美術館によるアドバイスやサポート
有識者所見 継続し、課題の解決に努めてください。ボランティアの研修にAED操作も導入してください。【戸枝】 友の会が、ミュージアムショップの運営協力をしている点も触れるべき。【村井】 会員数の動向は不明ですが、会員増は永遠のテーマであり、会員の皆さんの声を活かす活動が極めて重要だと思います。【飯田】					

大項目		自己評価			課題と改善案	
中項目	細目	評価の視点	H26目標値	H27目標値		
<b>②外部との連携・調査</b>						
	A. 実施の状況	・受入態勢等の構築状況  ・実施状況	・耐震改修工事のため設定なし。	・成田アート博覧会(成田市中 之町街づくり協議会ほかとの連 携) ・100人ワークショップ(千葉大 学教育学部との連携) ・夢つくり隊釜石プロジェクトⅡ (日本赤十字社千葉県支部と の連携) ・美術鑑賞講座(船橋市西部公 民館との連携) ・えほんで工作(袖ヶ浦市おか のうえ図書館との連携)	・普及事業以外の 連携調査等の検 討 ・積極的な地域連 携事業の展開	【課題】 ・効果的な連携事業の実 施 【改善案】 ・再開館後の連携事業の 検討
	有識者所見	継続してください。実績が広がっていくと思います。【戸枝】 ・来年度の連携事業に期待している。(分科会で説明してほしい。) 【村井】				
<b>11.人材育成</b>						
<b>①博物館実習</b>						
	A. 回数・人数	・受入態勢等の構築状況  ・回数、校数と参加者数	・耐震改修工事で 受け入れできない ため、27年度以降 の実習内容を検 討する。	・27年度の実習計画を作成した。	・博物館実習生の 受入れ ・28年度の募集	【課題】 ・実習内容の充実 【改善案】 ・館の特性を活かした実習 内容の検討
	有識者所見	以前、同様の受入れが望ましい。改善案の解決に努め、実習の充実を目指してください。【戸枝】				
<b>②教員等研修</b>						
	A. 回数・人数	・受入態勢等の構築状況  ・回数、校数と参加者数	・耐震改修工事で 受け入れできない ため、27年度以降 の内容を検討す る。	・27年度の研修内容案を作成し た。	・積極的な受入れ	【課題】 特になし 【改善案】
	有識者所見	継続してください。研修効果は利用者増につながると考えます。【戸枝】 ・来年度の事業に期待している。(分科会で説明してほしい。) 【村井】				
<b>③職場体験学習・インターンシップ</b>						
	A. 回数・人数	・受入態勢等の構築状況  ・回数、校数と参加者数	・耐震改修工事で 受け入れできない ため、27年度以降 の内容を検討す る。	・27年度の研修内容案を作成し た。 ・希望校との事前協議を行っ た。	・積極的な受入れ	【課題】 ・学校連携(出張授業) 等、他業務との調整 【改善案】 ・学校との密接な連絡調 整
	有識者所見	継続してください。研修効果は利用者増につながると考えます。【戸枝】				
<b>12.県民等からの依頼による学習支援</b>						
<b>①展示等の活用</b>						
	A. 解説の回数、利用 者数と満足度	・回数と利用者数  ・利用者ニーズの把握状況	・ギャラリートーク の実施(千葉県移 動館2会場で各1 回、特別企画展で 5回、収蔵作品展 で5回)	・ギャラリートークの実施 千葉県移動美術館 2回 54 人 特別企画展 6回 340人 収蔵作品展 6回 120人 ・展示を活用した連携事業の実 施(美術鑑賞講座(船橋市西部 公民館との連携))	・ギャラリートーク の実施 ・ギャラリートーク 以外の学習支援 メニューの検討	【課題】 ・展示等を活用した学習支 援の広報 【改善案】 ・ギャラリートーク以外の 学習支援メニューの検討
	有識者所見	企画展示時におけるギャラリートークは展示内容の理解と館の印象付けの効果があり、入館者増も期待できます。【戸枝】				
<b>②館内での講座・講演会</b>						
	A. 回数、利用者数と 満足度	・回数と利用者数  ・利用者ニーズの把握状況	・講演会1回	・講演会 1回 188人(定員200 人) ・アンケート調査による満足度 (非情に満足、満足)が100%	・講演会の開催	【課題】 ・特別展開連以外の講座 の実施 【改善案】 ・収蔵作品展開催時の講 座の開催
	有識者所見	講演会も同じ。外部講師の導入を検討してください。【戸枝】				

大項目		自己評価			課題と改善案
中項目	評価の視点	H26目標値	結果・所見	H27目標値	
細目					
<b>③学校連携</b>					
A. 学校団体の受入	・ 受入校数と回数、人数  ・ 利用者ニーズの把握状況	・ 耐震改修工事のため設定なし		・ 積極的な受入れ	【課題】 ・ 校外学習時間の減少 【改善案】 ・ 学校団体向けのメニュー開発 ・ 学校へのアンケートなどによる課題の把握
B. 出前授業	・ 実施校数と回数、人数  ・ 利用者ニーズの把握状況	・ 学校側からの依頼を受けて随時実施するので目標を設定しない。	・ 26件	・ 積極的な受入れ	【課題】 ・ 広報 ・ 依頼数増加や依頼重複時の調整 【改善案】 ・ 教員向け広報方法の検討 ・ アンケートや聞き取り調査による利用者ニーズの把握
有識者所見		・ 耐震工事開館のため、広報のプランクが生じました。積極的に広報をし、受入れに備えてください。【戸枝】			
<b>④外部講師依頼</b>					
A. 依頼の状況、回数と人数	・ 支援体制の状況  ・ 回数と参加者数 ・ 利用者ニーズの把握状況	・ 要望に応じた講師派遣の実施	28回 <内訳> ・ 大学非常勤講師 1件 ・ 出前授業 26件 ・ 講演会 1回	・ 継続	【課題】 ・ 依頼数増加や依頼重複時の調整 【改善案】 ・ 職員のスキルアップ
有識者所見		・ 実施時に専門研究者(外部講師)導入を図り、内容充実は、マスコミの露出度アップ、入館者増加にもつながります。【戸枝】			
<b>13. 地域づくりへの支援</b>					
<b>①地域との連携事業</b>					
A. 機関・地域住民等との連携	・ 実施状況(種類と件数)  ・ ニーズの把握の状況	・ 3回	・ 展覧会、講座、ワークショップ、講演など、多彩な連携事業を実施した。 ・ 成田アート博覧会(成田市中之町街づくり協議会ほかとの連携) ・ 夢つくり隊釜石プロジェクトⅡ(日本赤十字社千葉県支部との連携) ・ 美術鑑賞講座(船橋市西部公民館との連携) ・ えほんで工作(袖ヶ浦市おかのうえ図書館との連携)	・ 前年度並み	【課題】 ・ 内容の充実 【改善案】 ・ アンケートや聞き取り調査による利用者ニーズの把握
有識者所見		・ 実績は、他連携へと広がると考えます。【戸枝】 ・ 市町村立とは異なる、県立美術館として求められている連携事業の展開に期待している。【村井】			
<b>②観光資源としての活用</b>					
A. 県外団体来館数	・ 団体数  ・ 地域等の傾向	・ 耐震改修工事のため設定なし	・ 2団体 <内訳> 茨城県 1団体 神奈川県 1団体	・ 前年度を上回る団体数	【課題】 ・ 近隣県の美術サークルや美術館友の会の団体利用はあるが、一般団体の観光目的利用がほとんどない。 ・ 収蔵作品展に対するマイナスイメージ 【改善案】 ・ 観光事業者等への広報の充実
B. 外国人入場者数	・ 利用者数  ・ 地域等の傾向	・ 耐震改修工事のため設定なし	・ 外国人入場者数 42人 <内訳> 中国 9人 台湾 3人 インド 3人 アメリカ 2人 ヨーロッパ 7人 オーストラリア 1人 その他 17人	・ 前年度を上回る入場者数	【課題】 ・ 外国人入場者数の把握方法 ・ 無料ゾーンへの中国や韓国系外国人入場者はあると思われるが、人数の把握ができない。 【改善案】 ・ 外国人入館状況の把握方法の検討
有識者所見		・ 耐震工事開館で、プランクがあります。広報に工夫して、来館を促してください。館周辺の観光スポットの利用状況を把握し、来館の可能性を探ってください。【戸枝】			